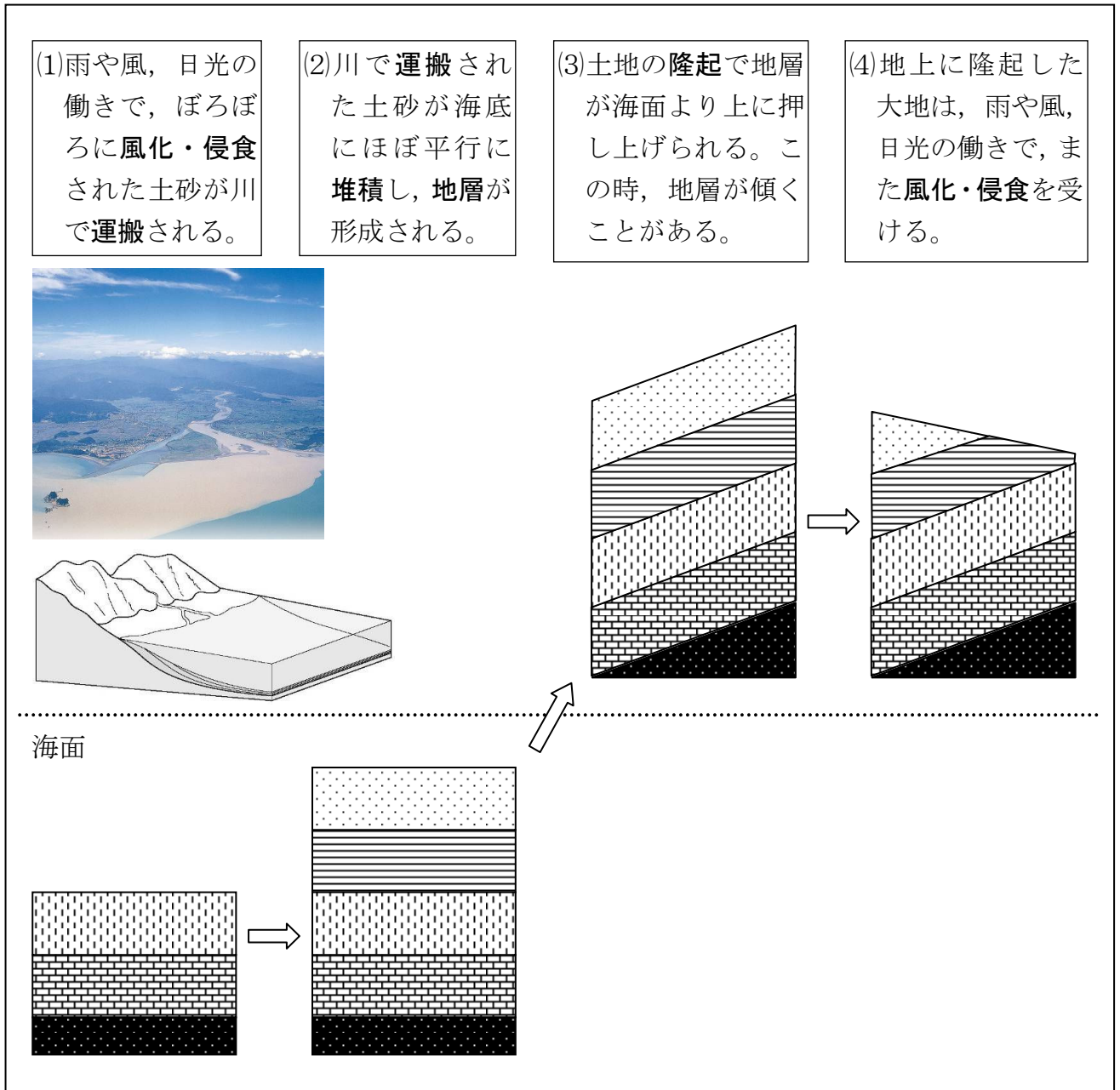


【事前学習資料 1】 地層ができるメカニズム

今から約46億年前に地球は誕生しました。誕生当時の原始の地球は、岩石がとけるほど高温の状態だったと考えられています。その後、地球はしだいに冷え、雲が発生し、雨が降るようになりました。そして、約41億年前に、海が生まれたのです。

雨は少しずつ岩石をけずり、川はその土砂を運びました。海には土砂が積もり、地層ができたのです。現在、地上に見られる地層の多くは、このようにして生まれました。それでは、その過程を図で考えてみましょう。



【まとめ】地層ができるまで

①風化・侵食→ _____ → _____ → 隆起 →風化・ _____

②地面の傾きと地層の傾きは，同じ方向とは限りま _____。

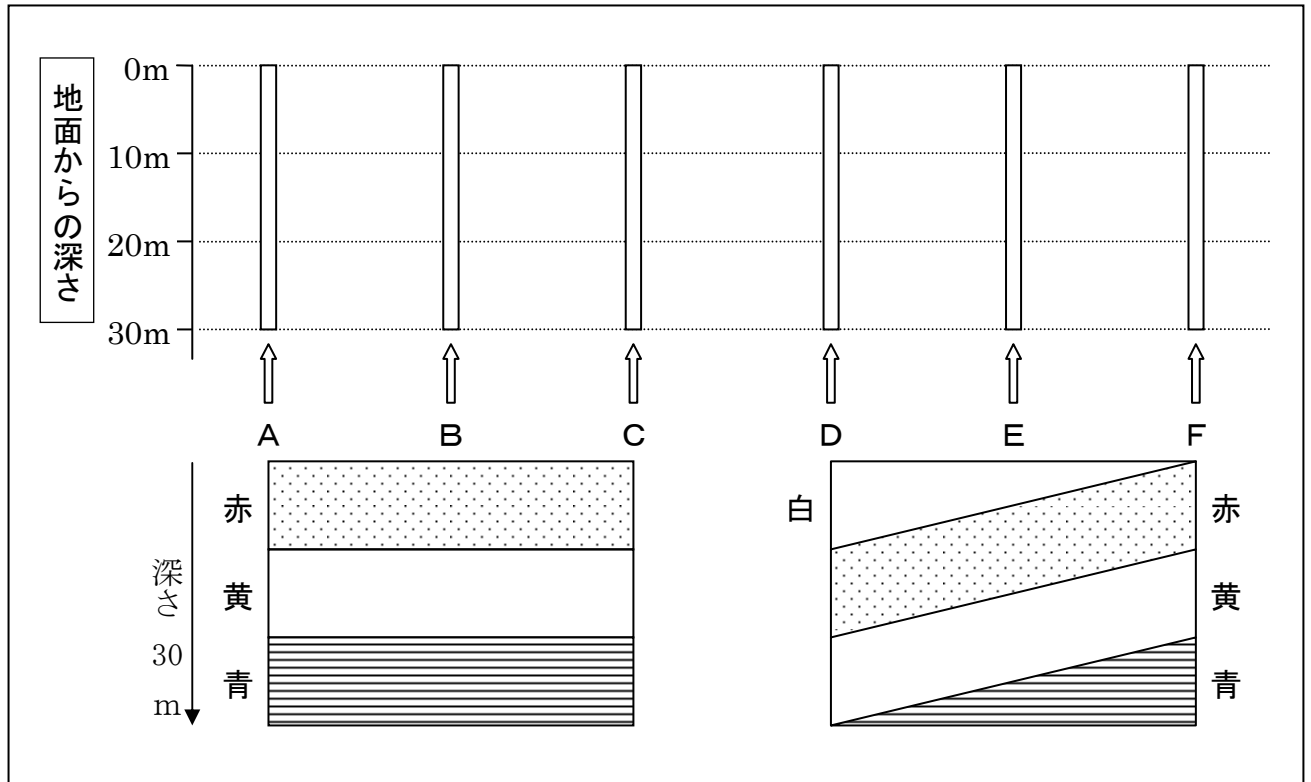
【事前学習資料2】 地層と柱状図

地下の様子を調べるために、地中に穴を掘って、円筒状にくり抜く調査を**ボーリング**と言います。そして、この時得られる堆積物や岩石をもとにして、**柱状図**が作られます。

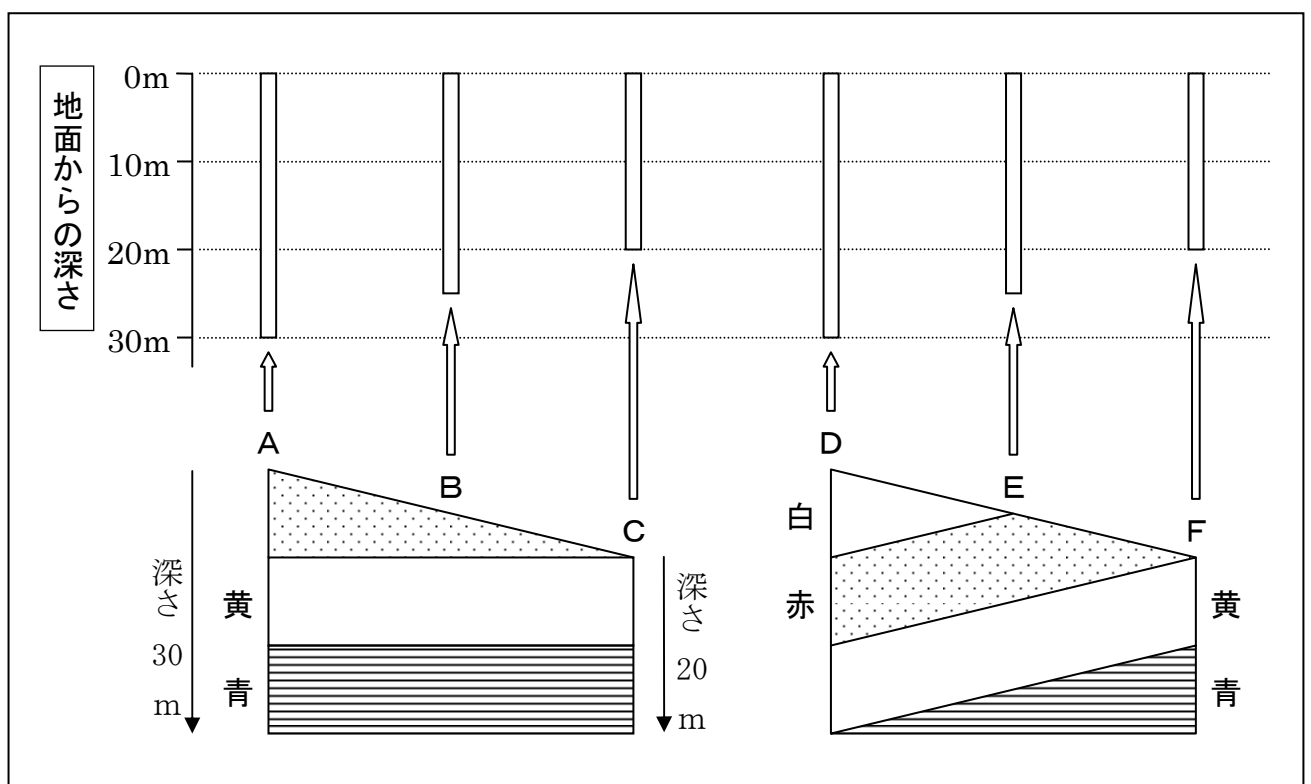
下の図のような**地層**からは、どのような**柱状図**が得られるのでしょうか。

柱状図を想像して描いてみましょう。

(1) 地面が水平な場合



(2) 地面が傾いている場合 (A~Fのどの場所でも、地面の深さは0mです)

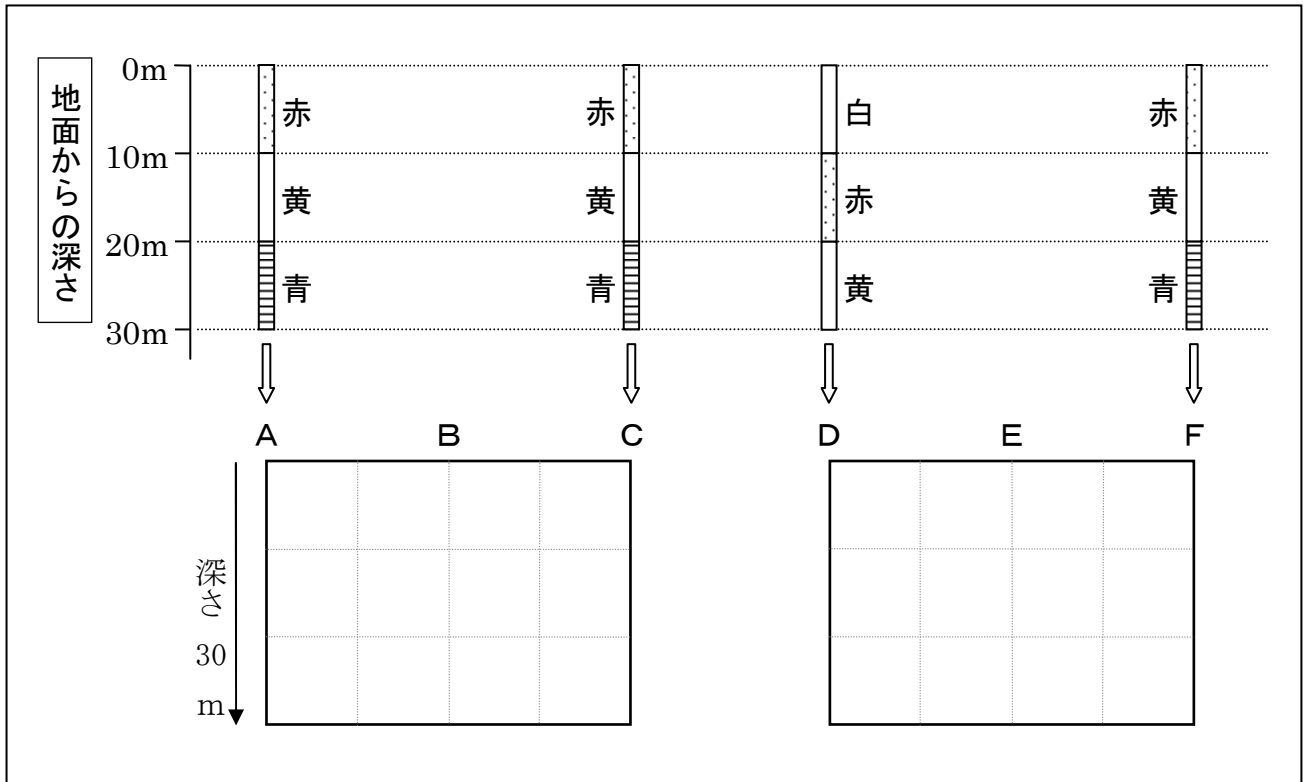


【事前学習資料 2】 地層と柱状図

地下の様子を調べるために、地中に穴を掘って、円筒状にくり抜く調査を**ボーリング**と言います。そして、この時得られる堆積物や岩石をもとにして、**柱状図**が作られます。

下の図のような**柱状図**が得られた場合、どのような**地層**だと考えられるでしょうか。
地層を想像して描いてみましょう。

(1) 地面が水平な場合



(2) 地面が傾いている場合

